

イベント開催報告 及び 今後のイベントについて

自動運転AIチャレンジ2024決勝大会 表彰式

公益社団法人自動車技術会は12月13日(金)に自動運転AIチャレンジ2024 決勝大会の表彰式を東京都新宿区のコモレ四谷タワーコンファレンスで実施いたしました。

表彰式では去る11月8日・9日に実施した決勝大会にて優秀成績を収めたアドバンストクラス、チャレンジクラス計6チームへの表彰の他、最速タイムを記録したRoborovskyへは日本自動車工業会会長賞の表彰を行いました。加えて、本大会のコミュニティでの活動や広報活動の推進に貢献した4

チームにはコミュニティ貢献賞・広報賞の表彰を行いました。

また表彰式前のプレゼンテーション企画では、競技出場チームの代表者7名によるプレゼンテーション企画が行われ、スポンサー及び来場者からの投票による上位3チームが選出され、同日の交流会にて表彰を行いました。交流会では、スポンサー企業の人事や技術部門の方にもお越しいただき、参加者同士やスポンサー企業と参加者との間で活発な交流が行われました。



集合写真



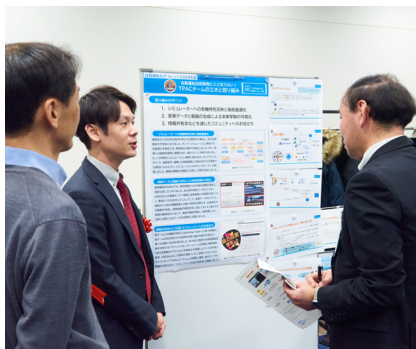
アドバンストクラス
最優秀賞



日本自動車工業会
会長賞



広報賞



プレゼンテーション企画
Q&Aの様子



プレゼンテーション賞

●結果

・アドバンスクラス

表彰	チーム名	タイム
アドバンスクラス 最優秀賞	TPAC	56.080
アドバンスクラス 優秀賞	iASL	1:00.079
アドバンスクラス 3位入賞	B(oo)ars	1:02.745

・チャレンジクラス

表彰	チーム名	タイム
チャレンジクラス 最優秀賞	Roborovsky	52.010*
チャレンジクラス 優秀賞	SNE	54.215
チャレンジクラス 3位入賞	TeamS	56.269

※最速タイムの「Roborovsky」に日本自動車工業会会長賞を授与

・コミュニティ貢献賞・広報賞

表彰	チーム名	名前
プラットフォーム枠	TPAC	岩佐健太 様
自動運転技術枠	とつとちゅら太郎	青木壮椰 様
自動運転技術枠	Roborovsky	加藤健太 様 佐藤高志 様
広報賞	iASL	時田颯人 様

・プレゼンテーション賞

表彰	チーム名	名前
表彰式前のプレゼンテーション 企画でスポンサー及び来場者から 投票による上位3チームに授与	Roborovsky	加藤健太 様
	鬼Backs	牧野和輝 様
	SNE	生駒 創 様

自動運転AIチャレンジとは

自動運転AIチャレンジは、次世代の自動車技術者の発掘・育成を目的に2019年から始まったイベントで、今回が9回目の開催です。本大会は、自動運転技術の研究開発を促進するために、CASEやMaaSと呼ばれる分野における新たなアプローチを支援しています。

本大会の詳細及び、今後本大会の資料請求をご希望の方は以下ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.jsae.or.jp/jaaic/2024ver/>

プラットフォーム会員交流イベント(第1回報告)

12/17に新東京ビル8F Deloitte Tohmatu Innovation Parkにて、第1回モビリティDXプラットフォーム会員交流イベントが開催されました。

本イベントはプラットフォーム会員同士の交流を促進するとともに、モビリティDXに関する知見を深めることを目的に開催され、現地71人、オンライン約90人と多くの方々にご参加いただきました。

今回のイベントはSDVの車室空間をテーマに、自動車OEMや、エンタメ、ソフトウェア等のモビリティに関連する企業からの登壇者によるプレゼン

を通じ、様々な知見が共有されました。また、その後の登壇者をパネリストとしたトークセッションでは、今後のSDVの進化におけるユーザー体験の重要性やAIが担う役割について、一般参加者からの質問も交え、自動車をつくる側・使う側双方の視点から活発な議論が行われました。

イベント後には懇親会にて軽食とドリンクを片手に登壇者と一般参加者が気軽に交流を行い、業界や役職の垣根を越えて繋がる、リアル開催ならではの光景が印象的でした。



トークショーの様子



集合写真

●登壇者・プレゼンタイトル一覧

・ソフトウェアデファインドビークルがもたらすモビリティの新価値創造



波多野 邦道

本田技研工業株式会社 SDV 事業開発統括部
エグゼクティブチーフエンジニア

・動くエンターテインメント空間



大沢 幸弘

Dolby Japan 日本法人社長 (兼) 東南アジア・
大洋州統轄

・生成AIで描く未来の車室空間 ～グローバル事例と可能性～



吉見 英朗

Microsoft Principal Architect

・Z世代が考える 「これからのカーライフをどう紐解くか？」



松田 斗夢

株式会社 AMANE
学生団体モビラボ Z世代モビリティ研究所 担当ディレクター

・クルマのエンタメ化とサイバーセキュリティ



小田 章展

VicOne株式会社 日本地域代表 ヴァイスプレジデント兼
セールス&ビジネス開発リード



伊藤 建

経済産業省 製造産業局
自動車課 モビリティDX室長



<モデレーター>

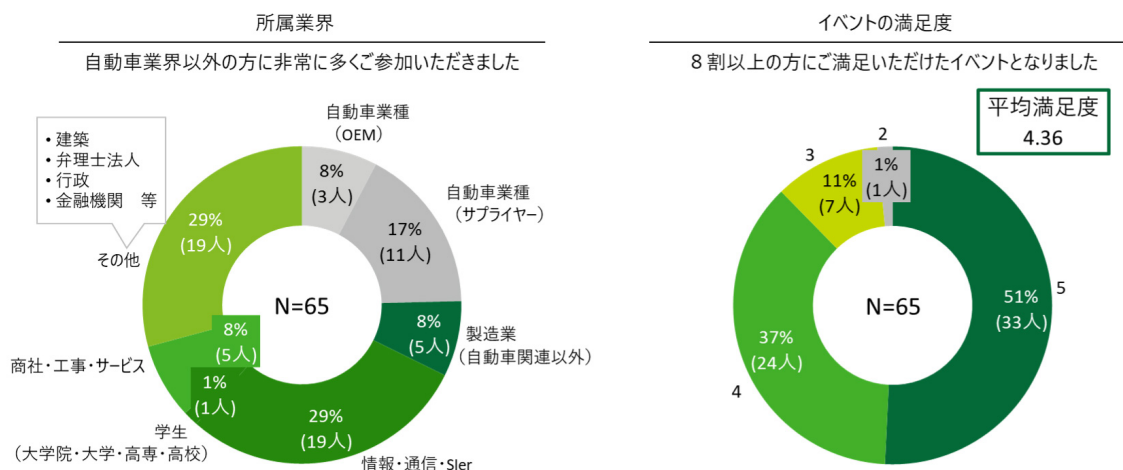
瀧口友里奈

経済キャスター 株式会社グローブエイト代表取締役

イベント後の参加者アンケートでは、「会場がリラックスできた」、「生の声が聞けた!」といった率直なご意見から、リアル開催ならではのネットワーキングを深められたことや、SDVにかかる知見が深まったといったご意見の他、若者の視点やAI活用等に対して新鮮さを感じた等、高い満足度が得られたイベントとなりました。

今後、2025年1月16日には名古屋にて第2回を、2月には東京にて第3回の開催を計画しておりますので、今回ご参加できなかった方々も含め、今後とも広く皆様のご参加をお待ちしています。

●アンケート結果



●参加者の声

■リアル開催ならではのネットワーキングを深められたとの声

- ・オンサイトでネットワーキングでき同志が集う機会に参加できた
- ・様々な企業の方とコミュニケーションすることが出来た

■SDVにかかる知見が深まったといったご意見

- ・SDVのWhatを考えるヒントが得られた
- ・自動車業界のEV、AI、SDVの波を感じる事ができた
- ・自動運転と生成AIの活用方法が参考になった

- ・SDVの新たな可能性の気づきがあった
- ・SDVというテーマに対する異なる業種からの意見を聞くことができとても学びになった
- ・SDVにおける車両価値向上について理解を深めることができた

■若者の視点やAI活用等、新たな気づきが得られたとのご意見

- ・エンタメ分野での各社の取り組みと考え方に触れることが出来た点。Z世代の意見に触れることが出来た
- ・Z世代あるいは高齢者対策など世代のことから、セキュリティのことまで、話題豊富で有益だった
- ・デジタルネイティブ世代の価値観と、自動車に求めるものがアナログ感・人間味等の感情に訴えかけるものだという意見が・新鮮だった
- ・若者のモビリティへの視点について、こういった講演で意見を聞ける場がいままでなく、聞いた内容も新鮮で非常に参考になった
- ・Z世代のプル型の思考についてのコメントが興味深かった
- ・今後の世の中で生成AIの活用はキーになると思う。実際に取り組みされた事例が紹介されて、参考になった
- ・生成AIを車内空間の充実に反映させるのは、自身の研究に活かせると思った
- ・ADASの判断理由をLLMを使って説明することで、車両とユーザーに信頼感が生まれるので良いと思った

プラットフォーム会員交流イベント(第2回案内)

2025年1月16日(木) 14:00~19:10

自由な情報共有・ディスカッションや交流

プラットフォーム会員交流イベント

— 第2回 —



●概要

モビリティDXプラットフォーム会員同士の自由な情報共有・ディスカッションや交流のためのイベント

●目的

様々なテーマについて、会員の取組事例のプレゼンテーション、ディスカッション、ネットワーキングなどを行い、プラットフォーム会員同士の交流を促進するとともに、モビリティDXに関する知見を深めることを目指します。

●第2回概要

自動運転と新たな価値創出の2テーマで、プレゼ

ン・トークセッションを行い、各社取組への理解を深めるとともに、今後のモビリティ産業の絵姿を語る。

開催日時：2025 / 1 / 16 (木) 14:00 ~ 19:10

開催方法：現地参加 もしくは オンライン配信

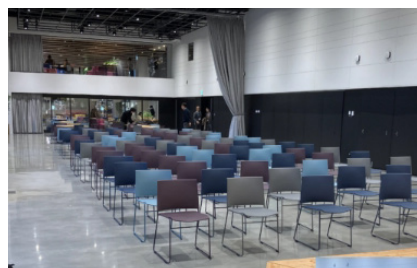
開催場所：STATION-Ai イベントスペース

アクセス：〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号

JR鶴舞駅(STATION Ai前 駅)から徒歩6分

※名古屋駅から2駅

●会場イメージ



●参加対象者

- ・モビリティ業界への興味を持っている方
- ・モビリティDXプラットフォームの会員同士で繋がりたい方

※自動車メーカー・サプライヤー、スタートアップ、大学・研究機関、異業種、学生・個人など幅広い方々の参加をお待ちしております

●参加メリット

- ・テーマに関する会員の取組事例についてのプレゼンテーションを通じて、モビリティDXに関する知見を深めることが可能
- ・ディスカッション、ネットワーキングを通じて、プラットフォーム会員同士の交流の促進が可能

●参加費用

無料 ※交通費は自己負担

●参加方法

モビリティDXプラットフォーム会員交流イベント
第2回のお申し込みはこちらよりお申し込みください。

https://www.jsae.or.jp/enquete/exchange_event_02/



詳細は後日Webサイトに公開いたします。

自動運転UX創造チャレンジ —アイデアソンのエントリーを募集中—

締切迫る！

1 / 17 (金) 12 時まで

未来のモビリティを一緒に考えるアイデアソン参加者募集！「自動運転UX創造チャレンジ」開催中！

※まずはプレエントリーだけでもOK！

詳細・応募はこちら

<https://bd.techplay.jp/sdv-ideathon>



※「自動運転UX創造チャレンジ」は、モビリティDXプラットフォームのソフトウェア人材獲得・育成に向けた新たな取組として、自動運転のユーザーエクスペリエンス (UX) をテーマに開催する「アイデアソン」です。

自動運転の車内で提供できるサービスのアイデアと、それを実現するHMI (人と車の間にあるインターフェース) のご提案をお待ちしております。

MobilityDX Platform

アイデアソン

自動運転 UX創造チャレンジ

自動運転の現在地と社会実装の未来

主催 経済産業省
運営主体 JSae 公益社団法人自動車技術会 TIER IV

モビリティDXに関わる国内外動向について

- 新宿御苑での実証実験に移動型無人販売サービス「PIMTO」を提供

➔ <https://news.panasonic.com/jp/stories/16506>

- 世界初 HMO 技術を採用した32型 車載用 eLEAP ディスプレイを開発

➔ https://www.j-display.com/news/news_file/file/241203_eleaphmo32.pdf

- 当別町駅周辺エリア 自動運転バス 実証運行

➔ <https://www.macnica.co.jp/business/maas/columns/146558/>

- ティアフォー、パートナー企業と共に神奈川県平塚市内で大型路線バスを用いた自動運転の実証実験を実施

➔ https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=215os00ZGBIJxPamDnqq52&category=NEWS

- キオクシアの車載向けUFS 4.0準拠の組み込み式フラッシュメモリがAutomotive SPICE レベル 2認証を取得

➔ <https://www.kioxia.com/ja-jp/business/news/2024/20241204-1.html>

- Waymo is coming to Miami

➔ <https://waymo.com/blog/2024/12/next-stop-miami/>

- 国内初、全自動配送実現に向け、ロボット・自動運転車・ドローンの協調配送実証に成功

➔ https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=2mNtRE4SKZrRb6qPMxrWuH&category=NEWS

- 岐阜県高山市での医療MaaSの実証運行に協力

➔ https://www.monet-technologies.com/news/info/20241206_01

- Uber と WeRide がアブダビで自動運転モビリティサービスを開始

➔ <https://www.weride.ai/posts/209>

- MaaS Tech Japan、地域ごとに特化したモビリティデータパッケージ「まちモビぷらす」を自治体や交通関係のソリューション事業者など向けに提供開始

➔ <https://www.maas.co.jp/1792/>

- TOYOTA 歩行領域 BEV『C+walk T』と AI 音声ガイドによる新しい観光サービス「OSAMPO(おさんぽ)」の期間限定実証を、アートプロジェクト実行委員会と共同で実施！

➔ <https://toyotaconiq-pro.co.jp/activities/2120/>

- 富士ソフトと名古屋大学、都市交通を最適化するスマート道路を目指し、バス専用レーンを活用した走行課金システムの技術検証を実施

➔ <https://www.fsi.co.jp/company/news/20241210.html>

- LiDAR技術で変わる様々なインフラシステム 駐車管理：効率化・安全性向上の最新ソリューション

➔ <https://www.macnica.co.jp/business/maas/columns/146602/>

- TechstarsとWirelessCarが協力し、未来のモビリティを実現するコネクテッドカーサービスのイノベーションを推進

➔ <https://www.wirelesscar.com/press-room/release/?id=74BC5BAEAA18E6B1>

- 【愛知県常滑市】2024年度 自動運転バス一般試乗（コンベンションルート）に参画します～「国内初」大型バスによる自動車専用道を時速60km走行での検証を実施～

➔ <https://www.aisantec.co.jp/ir/information/2024/12/2024-60km.html>

- ティアフォー、8.3メガピクセルの車載カメラ「C3カメラ」受注開始

➔ https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=6l8BNsuY6PdFxlLkoXCE3&category=NEWS

- Uber Japan、10代の子どもがタクシーを呼べる「Uber Teens」を日本初導入

➔ <https://www.uber.com/ja-JP/newsroom/uber-teens-2024/>

- 全国初！自動運転レベル4 対応のEV路線バスが 12月25日より運行開始！

➔ <https://evm-j.com/wp-content/uploads/2024/12/175b84d6f56320ba452fb182f40f2930.pdf>

- 日吉・綱島エリア（横浜市）のAIオンデマンドバスで仮想アテンダント車内案内サービス実証を開始

➔ <https://news.panasonic.com/jp/press/jn241212-2>

モビリティDX会員限定!ニュースレターへの記事掲載をご希望される方へ

本ニュースレターを活用してモビリティDXに関わる情報発信をしたい方は<問い合わせ先>まで氏名、ご所属をご連絡ください!

●掲載に関する詳細は以下の通りです。

- ・ご連絡いただいたタイミングで間に合う号への掲載となります
- ・掲載量は1件につき1/2ページ以内となります
- ・URL等外部サイトへのリンクの記載は可能です
- ・記事に関する問い合わせ先をご記載ください
- ・掲載情報は技術紹介や取り組み事例の紹介に限ります。個社の製品やサービスの宣伝はご遠慮ください。事務局が趣旨に合わない内容と判断した場合はお断りする場合がございます。